1953年6月16日　第三種郵便物認可

2018年 6 月11日（月）　3017号　隔週月曜日発行

民主青年新聞

●ホームページ　www.dylj.or.jp　●Eメール　minsin@dylj.or.jp

見どころ

科学的社会主義のものの見方って？　（6，7面）
難民申請者が自殺　（3面）
核兵器廃絶をめぐる歴史的な情勢　（10、11面）

「私らしく」生きたい

▶性の多様性を祝う昨年の東京レインボープライドの様子。今年は過去最高の約15万人が参加した

性の多様性を尊重する社会へ

性的マイノリティー（ＬＧＢＴ）は、学校や職場での嫌がらせや不当な扱いなど、多くの差別や偏見に直面しています。ＬＧＢＴでなくとも、見かけや憶測に基づく差別も重大です。どんな特性を持った人でも、その人らしく生きられる社会に向けて何ができるのかを考えます。（文中は一部仮名）

個人として見てほしい

「初恋は中学1年の時、年上の女性だった」と話すのはフォトグラファーの岡島直さん（23）です。それまでは周りから「好きな人はいないの？」と聞かれた時は、クラスで人気の男子同級生の名前を挙げていましたが、「『優しいクラスメート』や『友だちになりたい人』でしかなかった」と言います。

「生まれて初めて、心から好きだと思える人に出会えて幸せなはずなのに、私はとても苦しかった」と岡島さん。「誰かに何か言われたわけではないけれど、『異性を好きになるのが普通』と思っていたから、そこから外れたことを誰にも言ってはならないと思った」と話します。

現在、岡島さんはSNSを含めて周りに「バイセクシュアル」とオープンにしています。同時に、「自分のセクシュアリティーを100%肯定できているわけでも、自分自身を肯定できているわけでもない」と岡島さん。「今でも恋をするたびに、相手が同性であることに動揺し、気持ち悪いと思われないか怖くなる。オープンにすることを選んだとしても、強いわけでもなく、その選択だけが正しいわけでもない」

岡島さんは「ＬＧＢＴ」と一括りにされて、当事者とそうでない人に分けて語られることに「おかしい」と感じています。岡島さんは「性的指向も性自認も、それは全ての人に関わること。異性を愛する人たちが一人ひとり違っているように、『ＬＧＢＴ』とひとまとめにされる私たちも一人ひとり違っている」と話します。

「私は『ＬＧＢＴの○○さん』でも『バイセクシュアルの○○さん』でもなくて、あなたと同じ一人の人間。いつかＬＧＢＴという言葉も必要ない社会をつくりたい。それはきっと、多くの人にとって生きやすい社会になると信じている」

「ＳＯＧＩハラ」の苦痛

性的マイノリティーかどうかを問わず、差別的な言動、性的指向を許可なく公表すること（アウティング）などの「ＳＯＧＩハラスメント」は人を傷付けます。「ＳＯＧＩ」とは「Sexual Orientation（性的指向）」と「Gender Identity（性自認）」の頭文字で、好きになる性と自認している性を示す言葉です。

医療従事者として働く日高剛さん（23）は、小学5年の時に「自分は男子が好きなのかもと思った」と話します。仲のいいクラスメートと話しているとき、「ドキドキしてうまく話せなかった。しばらくして恋愛感情だと気が付いた」と振り返ります。しかし、クラスメートから「オカマ」などといじめられたことで「知られてはいけないことなんだ」と深く傷ついた体験があります。

日高さんは「同性愛という言葉は高校時代から知っていた。でも、気になる友だちがいても、会話をするだけで楽しかった。それ以上は考えないようにしていた」と話します。

大学進学後に民青に加盟した日高さんは、自分の生き方やどんな社会を目指すかを学び、交流する中で「自分はどんな人なのかとい」（2面につづく）

多様性認める世界の流れ

性的マイノリティーはレズビアン（女性同性愛）、ゲイ（男性同性愛）、バイセクシュアル（両性愛）、トランスジェンダー（心と体の性別に違和を持つ人）の頭文字からＬＧＢＴと総称します。

世界保健機関（ＷＨＯ）は1990年、「同性愛は治療の対象にはならない」として治療の対象から削除し、日本は94年にＷＨＯのこの見解を採用しました。

2011年６月、国連人権理事会は各国にＬＧＢＴへの人権侵害を防ぐとりくみを求め、日本も賛同しています。

性の３つの要素

①身体の性
生物学的な性、性器の有無などある程度客観的に判断される性別
女 ←→ 男

②性自認
自分の認識している性、「どの性別でもない」「分からない」という認識
女 ←→ 男

③性的指向
どの性に恋愛感情や性的関心が向くか、関心の有無や強弱
女 ←→ 男

※上記に当てはまらない人もいる

「性自認および性的指向の困難解決に向けた支援マニュアルガイド」より作成

発行所
日本民主青年同盟中央委員会
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-20-2
電話(03)5772-5701　FAX(03)5772-5702
日本民主青年同盟中央機関紙
定価（税込み）月680円　〒130円　1部340円
郵便振替00180-4-106690